

世界史

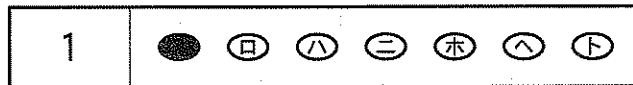
注意

1. 問題は全部で10ページである。
2. 解答用紙は(その1)(その2)がある。(その1)はマーク・シートになっている。
3. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答がイのとき)



4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

〔 I 〕 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。解答用紙(その1)を使用のこと

1066年、(①)公はドーヴァー海峡を渡り、アングロ・サクソン系の王家が復活していたイングランドを征服して新たな王朝を立てた。しかし彼は、イングランド王であると同時に、(①)公としてフランス王の家臣という立場にあり、このねじれ状態がその後の英仏関係を紛糾させる一因となった。

この王朝が断絶すると、初代の王の孫娘とフランスのアンジュー伯との間の子が即位し、プランタジネット朝が始まる。彼はイングランド王であると同時に、(①)公領、アンジュー伯領、さらには妻の所領アキテーヌなどフランスの西半分を領有し、形式上フランス王の家臣といいながら、フランス王をはるかにしのぐ領土を支配した。いわゆる「アンジュー帝国」である。イングランドの王侯はフランス語を常用し、公文書もフランス語で書かれた。騎士道物語の英雄を彷彿とさせる次代の獅子心王 も英語は能くせず、⁽¹⁾ 十字軍遠征や対仏戦争のため、イングランドに滞在した期間はこのべ半年にすぎなかった。

しかし次の王はフランス王と戦って敗れ、フランスの領地の大半を失ってしまう。「アンジュー帝国」は崩壊し、プランタジネット家はイングランドに本拠を移すことを余儀なくされた。その次の王 は、失地回復の外征の失敗や強引な課税などで失政を重ねた。「模範議会」を召集したことで知られる次王 は、⁽²⁾ 大ブリテン島の掌握にも傾注し、ケルト系の国を征服。のちに、⁽³⁾ イングランド王位継承第一位の王子がこの国の「プリンス」を名乗ることが慣例となった。

カペー朝の断絶に伴って即位したヴァロワ家の王に対し、イングランド王 がフランス王位継承権を主張し、百年戦争が始まる。両者はカペー朝最後の王の従兄弟と甥の関係であった。はじめはイングランド軍が優勢で、フランス南西部を占領した。⁽⁴⁾ 黒死病の流行や双方の国内の内紛などもあって一時休戦ののち、⁽⁵⁾ 15世紀初頭に戦争は再開。イングランド王がフランス王も兼ねるまでになったが、ジャンヌ・ダルクの出現で形勢は逆転し、戦争はフランスの勝利に⁽⁶⁾ 終わった。

終戦もつかの間、今度はイングランド国内で、プランタジネット家から王位を

篡奪していたランカスター家と、ヨーク家とのあいだで王位継承の内乱が起こる。これは の息子たち、ランカスター公とヨーク公の子孫による王位をめぐる内紛である。最終的にランカスター家の傍流テューダー家の が1485年に即位し、テューダー朝を開いた。彼はヨーク家の娘と結婚し、ランカスター家とヨーク家の和合を演出した。次の王の時代にもフランスとの抗争は続いた。⁽⁷⁾

問 1 文中の(①)に当てはまる語を以下から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- | | |
|----------|--------------|
| a ウェセックス | b クヌート(カヌート) |
| c デーン | d ノルマンディー |

問 2 下線(1)に関連して、『ニーベルングンの歌』や『アーサー王物語』を題材にして楽劇を書いた19世紀ドイツの作曲家を以下から一人選び、その記号をマークしなさい。

- | | |
|-----------|--------|
| a シューマン | b バッハ |
| c ベートーヴェン | d ワグナー |

問 3 文中の空欄 ~ に当てはまる人名を以下の語群からそれぞれ一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

語 群

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| a アルフレッド | b ウィリアム1世 | c エドワード1世 |
| d エドワード3世 | e エドワード6世 | f エリザベス1世 |
| g ジェームズ1世 | h ジョン | i チャールズ1世 |
| j ヘンリ2世 | k ヘンリ3世 | l ヘンリ7世 |
| m ヘンリ8世 | n メアリ1世 | o リチャード1世 |

問 4 下線(2)に関連して。この国王の専制と失政に対して 1258 年に反乱を起こした人物を以下から一人選び、その記号をマークしなさい。

- a ギョーム・カール
- b シモン・ド・モンフォール
- c ジョン・ボール
- d ワット・タイラー

問 5 下線(3)について。この国を以下から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a アイルランド
- b ウェールズ
- c スコットランド
- d ブルターニュ

問 6 下線(4)に関連して。長弓兵を駆使したイングランド軍が 1346 年に大勝した戦いの地を以下から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a アザンクール
- b オルレアン
- c クレシー
- d ポワティエ

問 7 下線(5)に関連して。黒死病による農業人口の激減に伴って、労働力確保のため農民の待遇が改善された。こうした流れのなかで農奴身分から脱した農民の名称を以下から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a コロヌス
- b ジェントリ
- c ブルジョワジー
- d ヨーマン

問 8 下線(6)に関連して。ジャンヌ・ダルクの出現を機に攻勢に転じ、フランスを勝利に導いた国王を以下から一人選び、その記号をマークしなさい。

- a シャルル 7 世
- b フィリップ 2 世
- c フィリップ 6 世
- d フランソワ 1 世

問 9 下線(7)に関連して。この国王が発布した法令の文言を以下から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a あらゆる苦情の原因をただし、法を修正・強化・保持するために、議会は頻繁に開かれなければならない。
- b 君主である国王、およびその継承者にして後継者である本王国の諸王は、イングランド教会の地上における唯一最高の首長と考えられ、認められ、みなされる。
- c 国王は正当に神と呼ばれる。彼らは地上において、一種の神の権力、ないし神の権力に似た力を行使するからである。
- d 朕は、イングランドの教会は自由であり、その権利を減ずることなく、その自由を侵されることなく有すべきことを……朕および朕の後継者のために永久に確認した。

問10 同じく下線(7)に関連して。この国王が財政難の打開を意図して1536年と1539年に行ったことを以下から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 囲い込み
- b 修道院解散
- c 贖宥状販売
- d 人頭税導入

問11 本文で触れた「アンジュー帝国」の崩壊を招いた国王から下線(7)の国王にいたる300年の間のイングランド王を扱った数々の史劇を残した文人を以下から一人選び、その記号をマークしなさい。

- a シェイクスピア
- b チョーサー
- c バンヤン
- d ミルトン

〔Ⅱ〕 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。解答用紙(その1)を使用のこと

今日のベルギー・オランダにほぼ該当するネーデルラント、とくに中世以降毛織物産業で潤う南部では、15世紀に入ると芸術活動が非常に活発になり、その影響は他国にも広く及んだ。絵画では油彩技法の事実上の確立者であり精緻な細密描写で知られる(ア)兄弟がその代表格である。16世紀には(イ)が豊かな大自然や農民の生活などを描いて、風景画や風俗画の独立への道を切り開いた。学問においては解剖学者・医学者のヴェサリウスや地理学者・地図制作者のメルカトルが南部(現ベルギー)の出身、『愚神礼讃』の著者でギリシア語原典による聖書も刊行した人文主義者(A)は北部(現オランダ)の出身だが、3人ともその活動は国際的だった。

16世紀前半、ネーデルラントは神聖ローマ皇帝カール5世(スペイン王カルロス1世)の支配下にあったが、同世紀後半に入ると情勢は険しさを増してゆく。新教諸派、中でも多数派のカルヴァン派勢力が、カトリック信仰の強制や、苛酷な異端審問の導入に猛反対したのは当然だった。1568年には反体制派の大貴族二人の公開処刑を直接の契機として、本格的なスペイン反乱が勃発する。この戦争の結果、ネーデルラントは南北に分裂し、北部7州だけがオランダ(ネーデルラント連邦共和国)として独立した。この戦争は市民革命の先駆と位置付けられることも多いが、反乱の指揮をとったのは中央集権化に抵抗した大貴族層であり、彼らの新教擁護も民衆の支持を得るために過ぎぬ場合が多かった。「建国の父」とされる(1)公ウィレム1世も例外ではなく、カトリックからカルヴァン派に改宗している。本来は基盤と利害の異なる大貴族とカルヴァン派民衆を反スペインの共同戦線へと駆り立てたのは、ネーデルラントの豊かな富を吸い上げようとして強引に導入された、すべての商取引に一律にかかる10パーセントの大型間接税だった。

オランダの独立以後はバルト海貿易やアジアとの香辛料貿易の拠点となったアムステルダムがアルプス以北最大の貿易港として君臨し、16世紀にその地位にあった(2)は往時の勢いを失うが、文化活動が一気に下火になったわけではない。美術品や楽器、宝飾品など奢侈品の輸出は以前に劣らぬ水準を保ってい

た。1566年の聖像破壊運動で大きな打撃を被っていた各地の教会堂の再建や補修が相次いで成し遂げられ、その大半は同時代のカトリック諸国においてと同様、曲線を多用した華麗な装飾を誇る(3)様式に従っている。破壊された祭壇画の復興も盛んだったが、この課題にほとんど独占的に取り組んだのが(3)様式最大の画家である(ウ)だった。スペイン領南ネーデルラントの外交官でもあった(ウ)は国際的な活躍を繰り広げ、スペイン・イギリス両国王からナイト爵の位を授かった。彼の工房の筆頭助手だった(エ)も長期のイタリアでの活動ののちイギリス王チャールズ1世の宮廷画家となり、優雅で気品のある宮廷的肖像画の規範を確立した。

祭壇画や礼拝像の制作を公的に禁じるカルヴァン派主導の共和政国家となったオランダは、教会と宮廷という従来の大パトロンを失うことになった。しかしそうした逆境の中でオランダは美術史に新たな局面を切り開く。とりわけ絵画は質量ともに充実し、分野も多岐にわたっている。特に興隆したのが風景画、風俗画、静物画など親しみ深くまた理解しやすい、新興の「市民的絵画分野」であり、日常の現実の観察に支えられているのが顕著な特色である。生涯を小都市デルフトで送りつつ、中流市民家庭における女性の営みを静謐で明晰な画面に描いた(オ)は典型的な存在である。また(カ)は、聖書に記された種々の物語の絵画化においても、光と影の対比による人間的ドラマの創造によって、キリスト教美術の歴史に新局面を拓いた。王侯貴族との関係が深かった肖像画において市民的モデルを生み出し「夜警」を代表とする市民団体の肖像画を描いた点でも、南ネーデルラントの(エ)とは対照的である。学問の分野では、国際法と近代自然法の創始者とされる法学者(B)、顕微鏡を発明して微生物を確認した生物学者レーウエンフック、土星の環の発見と振り子時計の発明で知られる物理・天文学者(C)が代表的存在である。思想においてはユダヤ系の(D)が『エチカ』などの著作で汎神論哲学を展開した。

問 1 空欄(ア)～(カ)に該当する画家名を下記の語群から選んで記号をマークしなさい。

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| a ルーベンス | b ホルバイン | c フェルメール |
| d ファン・ダイク | e ジョット | f ブリュージェル |
| g ベラスケス | h レンブラント | i デューラー |
| j ファン・アイク | | |

問 2 空欄(A)～(D)に該当する学者名を下記の選択肢から選んで記号をマークしなさい。

- | | | |
|----------|----------|---------|
| a ボイル | b ホイヘンス | c ロイヒリン |
| d ホップズ | e グロティウス | f ハーヴェー |
| g パスカル | h ケプラー | i スピノザ |
| j エラスムス | k トマス・モア | l デカルト |
| m ライプニッツ | n ベーコン | |

問 3 空欄(1)に該当するものを下記の選択肢から選んで記号をマークしなさい。

- | | | | |
|--------|-------|----------|--------|
| a オラニエ | b ギーズ | c ブルゴーニュ | d オイゲン |
|--------|-------|----------|--------|

問 4 空欄(2)に該当する都市名を下記の選択肢から選んで記号をマークしなさい。

- | | |
|-----------|--------------------|
| a ブリュッセル | b ブリュージュ(ブリュッヘ) |
| c ガン(ヘント) | d アントウェルペン(アントワープ) |

問 5 空欄(3)に該当するものを下記の選択肢から選んで記号をマークしなさい。

- | | | | |
|-------|--------|--------|---------|
| a ロココ | b バロック | c ゴシック | d ルネサンス |
|-------|--------|--------|---------|

問 6 下線部①に関連して、スペインがオランダの独立を正式に承認したのは何年か。下記の選択肢から選んで記号をマークしなさい。

- a 1581年 b 1602年 c 1609年 d 1648年

問 7 下線部①に関連して、南ネーデルラントがベルギー王国として独立を果たしたのは何年で、またその独立はどこからのものだったか。下記の選択肢から正しい組み合わせを選んで記号をマークしなさい。

- a 1713年 スペイン b 1763年 オーストリア
c 1815年 フランス d 1831年 オランダ

〔Ⅲ〕 東アジアの国際関係を説明した以下の文章を読み、設問に答えなさい。

- (1) 明朝は、日本の室町幕府に倭寇の取り締まりを求めた。三代将軍の足利義満を「日本国王」に封じ、日本から遣明船が派遣され、(A)が開始されると、倭寇の活動は沈静化した。
- (2) 16世紀初めに東アジアに進出した(B)人は、マカオへの居住を明朝に認めさせ、中国貿易の拠点とした。その後、中国の長江下流域で大量に生産された(C)は、日本の長崎にも運ばれ、対価として日本銀が中国に運ばれるようになった。
- (3) 幕府をひらき、実権を握った徳川家康は、(D)によって東南アジアとの貿易をすすめた。幕府は、その後、いわゆる「鎖国」を行って、日本人の海外渡航を禁止するなど外国との関係を制限したが、実際には、対馬の(E)を通じて朝鮮と関係を持つなど、外国との関係が途絶したわけではなかった。
- (4) 中継貿易によって多くの利益を得ていた(F)の勢力は衰え、薩摩の島津氏の侵攻ののち、日本の幕藩体制のもとにくみこまれた。
- (5) 清朝の乾隆帝は、ヨーロッパ船との貿易のための港を(G)に限定し、その管理を公行という特許商人の組合に任せる体制をとった。こうした貿易の制限に対して、イギリスは、(H)やアムステルダムを派遣してその撤廃を求めたが成功しなかった。
- (6) (I)の中国貿易独占権が廃止され、その後、イギリスは(J)によって、武力による貿易の自由化を実現しようとした。

問 1 (1)～(6)の文章を年代順に並び替え、その番号を書きなさい。解答用紙(その2)を使用のこと

問 2 (A)～(J)にはいるもっとも適切な語句を書きなさい。解答用紙(その2)を使用のこと

問 3 下線部(イ)に関する以下の文章の()内の語句からもっとも適切なものを選び、その記号をマークしなさい。解答用紙(その1)を使用のこと
植民地としての歴史を閉じたマカオは、(a 大連 b 上海 c 台湾 d 香港)返還にひきつづき、1999年から一国二制度という制度を採用した。

問 4 下線部(ロ)に関する以下の文章の()内の語句からもっとも適切なものを選び、その記号をマークしなさい。解答用紙(その1)を使用のこと
蝦夷地の松前藩に認めていた(a ロシア b オランダ c 清朝 d アイヌ)との貿易もそうした関係のひとつであった。

問 5 下線部(ハ)に関する以下の文章の()内の語句からもっとも適切なものを選び、その記号をマークしなさい。解答用紙(その1)を使用のこと
この時代は、あいつぐ外征によって清朝の領域が最大となった時代であった。(a モンゴル b チャハル c チベット d 東トルキスタン)の回部もそのひとつであった。

問 6 下線部(ニ)に関する以下の文章の()内の語句からもっとも適切なものを選び、その記号をマークしなさい。解答用紙(その1)を使用のこと
この戦争は、「不正義の戦争」とされ、イギリス国内でも多くの反対があった。のちに自由党の党首となった(a グラッドストーン b ウォルポール c ピット d ディズレーリ)は議会ではげしい反対演説をおこなった。

